

消化器・肝臓センター

NEW-す

NO. 73

2021.7



切除不能膵癌の2次治療に新たな抗癌剤が承認されました

膵癌は4番目に死亡数の多い癌腫であり（2018年）、5年生存率は10%未満と予後不良な疾患です。膵癌の治療は2001年にゲムシタビン（GEM）が保険適応されて以来、年々進歩を遂げてきましたが、他の癌疾患に比べて治療薬が少なく厳しい状況が続いていました。その状況下で昨年新薬が膵癌2次治療に新たに加わり、難治性とされる膵癌患者様にとって有効な選択肢が増えたことになります。

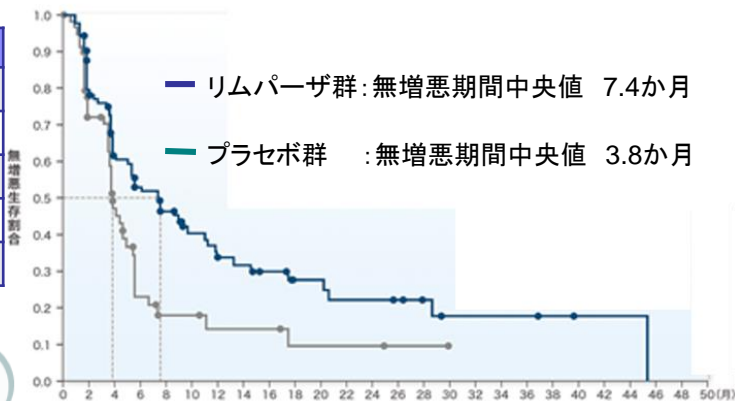
切除不能膵癌の2次治療に 新たな抗癌剤

(BBRCA遺伝子変異に対する分子 標的薬：リムパーザ™) が登場

リムパーザ™ は、バイオマーカー(BRCA遺伝子変異)により選定された進行卵巣癌患者に対する分子標的薬として開発され、プラチナ製剤を含む一次化学療法で疾患進行が認められていない進行膵癌患者を対象とした海外第Ⅲ相臨床試験（POLO試験）において、BRCA遺伝子変異陽性転移性膵癌患者さんの病勢進行または死亡に至るまでの期間をほぼ2倍に延長しその有効性が証明されました。国内でも膵癌二次治療に対して昨年12月に保険適用となり使用可能となりました。

その特徴は**内服薬（1日2回投与）**であること、BRCA遺伝子変異を有した膵癌患者さんでプラチナ製剤を含む化学療法で疾患進行が認められていない方だけに使用が限定されることが挙げられ、**使用に関しては必ずBRCA遺伝子変異を有しているかを遺伝子検査をする**必要があります。重篤な副作用として骨髄抑制、特に貧血が報告されていますが、膵癌患者さんにとっては治療の選択肢が広がることとなります。詳細は当院外科・消化器肝臓センターへお気軽にお問い合わせください。

リムパーザ副作用	副作用発生率	重篤な副作用
疲労・吐き気	45.1%	4.4%
腹痛・下痢	28.6%	2.2%
貧血	27.5%	11.0%
食欲減退	25.3%	3.3%
便秘	23.1%	-



当院消化器・肝臓センターでは、ガイドラインに沿って、患者さま一人一人に応じて適切な治療をチーム医療として提供しています。
お気軽に当センターへご相談ください。

— 海外第Ⅲ相試験(POLO試験)の結果 —
病状が進行するまでの期間をほぼ2倍に延長



KAIZUKA

市立貝塚病院

TEL: 072-422-5865

外科 金 鏞国